

広島市植物公園

見どころ案内

サギソウ (ラン科)

日本各地の湿地に生える多年草。準絶滅危惧種。白色の翼を広げた鷺(さぎ)に似た花を咲かせます。広島市植物公園のシンボルマークになっています。

フウラン (ラン科)

本州より南に自生する着生植物で絶滅危惧種に指定されています。白色の花から良い香り(主に夜)を漂わせています。

カカオ

(アオイ科(以前はアオギリ科))
熱帯アメリカ原産。幹に多くの淡い赤紫色や山吹色の実を直接つけています。果実はチョコレートの原料。

サガリバナ

(サガリバナ科)
熱帯・亜熱帯に分布する常緑樹。日本には奄美大島などの川沿いに自生。花弁は白～淡紅色で放香を放ちます。夜に咲き、翌朝には落花します。

ヘリコニア・ロストラータ

(オウムバナ科(以前はバショウ科))
ハワイやペルー原産。一房に十数個の目立つ色の苞がついています。

カリガネソウ (シソ科(以前はクマツヅラ科))

日本を含む東アジアが原産です。和名はこの花の形を雁の一種の首に見立てたものです。紫色の清楚な花で、帆掛船に見立てて、帆掛け草(ほかけそう)の別名もあります。

オミナエシ (オミナエシ科)

黄色の花を咲かせています。秋の七草の一つであり、日本人には馴染み深い植物です。

タイタンビカス

(アオイ科)
アメリカフヨウとモミジアオイの交配種。鮮やかな赤、白、桃色の大きな花が咲いています。暑さに強く、真夏にも咲き続けます。

変化アサガオ

展示会(9月)よりも早く咲きだした鉢を展示しています。お楽しみください。

マツリカ (モクセイ科)

インドから東南アジア原産です。白い花は香が強く、ジャスミン茶(茉莉花茶)などに使われます。

球根ベゴニア

(シュウカイドウ科)
花に香りのある珍しい球根ベゴニアが開花中です。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)
品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

